

看護学部／看護学科・保健師コース	職名	教授	氏名	尾形由起子
------------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2004年広島大学大学院保健学研究科博士課程修了し、博士（保健学）を取得後、本学看護学部助教授として着任。2009年度より教授に就任。前職福岡県保健師であり、超高齢社会において地域住民が住み慣れた地域で療養生活を意思決定するための公衆衛生看護活動に関心をもち、現在もその検証を行っている。具体的には、地域住民自らが、終の棲家に対する意思決定できる支援方法の検討について地域の多職種と共に協働しケアシステム構築に関する研究を行っている。その研究を基にした実践活動としては、住み慣れた地域で独居になっても、安心して暮らし続けることができるための地域でのシステムづくりについての活動を展開している。2024年度より附属研究所長として、大学全体の研究推進に努めている。

2. 研究業績

① 最近の著書・論文

- ・ 尾形由起子，社会・環境と健康 公衆衛生学 2023年度，柳川洋，尾島俊之編著，医歯薬出版株式会社，2025
尾形 由起子，「自分らしく生きる」を支える公衆衛生看護活動を考える，日本公衆衛生看護学会誌 13 (1) 2024
- ・ 中村美穂子，山下清香，小野順子，吉田麻美，大塚文，岩崎玲奈，尾形由起子，入院早期から退院調整を開始している退院調整実施者の特徴，福岡県立大学看護学紀要，21, 1-8, 2024
山下 清香，中谷 久恵，尾形 由起子，小野 順子，中山 貴美子，山口 のり子，地域保健活動への住民参加を促進する行政保健師の技術，地域看護学会誌 26(1)，2023
- ・ 平塚淳子，猪狩崇，中村美穂子，小野順子，吉川未桜，吉田麻美，田中美樹，山下清香，櫛直美，尾形由起子，A県における訪問看護ステーションのBCP策定における現状と課題，福岡県立大学看護学紀要，19巻，2023
吉川未桜，吉田麻美，平塚淳子，中村美穂子，大場美緒，小野順子，猪狩崇，山下清香，田中美樹，櫛直美，尾形由起子，新型コロナウイルス感染拡大における訪問看護ステーションの困難と対応，18巻，2022
田中美樹，吉川未桜，尾形由起子，櫛直美，吉田麻美，小児訪問看護における訪問看護師の困難感と同行訪問研修の試み，福岡県立大学看護学紀要，18巻，2022
小野順子，山下清香，中村美穂子，中本亮，櫛直美，田中美樹，吉川未桜，吉田麻美，尾形由起子，A県における訪問看護ステーションの災害対策現状と課題-災害時の在宅医療継続にむけて-，福岡県立大学看護学紀要，18巻，2022

② その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 尾形由起子，小野順子，，中村美穂子，石崎龍二，生活習慣病重症化によるCKDの地域格差とリスクの検討，第83回日本公衆衛生学会学術集会
- ・ 小野順子，尾形由起子，石崎龍二，山下清香，中村美穂子，畑香理，精神障がい者の地域包括ケアシステム構築に向けたGIS活用した地域診断．第83回日本公衆衛生学会学術集会
- ・ A study on clarify the relation with perceptions regarding home care decision-making until the end-of-life of community residents.end-of-life care, decision-making, community, support, attachment ,

Yukiko Ogata, Junko Ono, Kiyoka Yamashita , Sukimoto Yuriko, Rika Hiroki, 26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023

Disaster Countermeasures at Home-Visiting Nursing Service Stations for Maintaining Home Care, Junko Ono , Yukiko Ogata , Naomi Ichiki , Kiyoka Yamashita, 26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023

A study on the actual situation and issues of end-of-life care for home-visit nurses, Naomi Ichiki , Yukiko Ogata, Junko Ono, Kiyoka Yamashita, 26th East Asian Forum of Nursing Scholars 2023

③ 過去の主要業績

- ・ 尾形由起子, 社会・環境と健康 公衆衛生学 2017 年度, 柳川洋, 尾島俊之編著, 医歯薬出版株式会社, 2024
- ・ 尾形由起子, 岡田麻里, 榎直美, 野口忍, 他, 終末期がん療養者の満足な在宅看取りを行った配偶者の介護体験, 地域看護学会誌, 20(2),2017
- ・ 尾形由起子, 榎直美, 小野順子, 他, 終末期がん療養者の配偶者による在宅看取り実現のためのセルフマネジメントに対する支援方法の検討—多職種フォーカス・グループインタビューの結果より—福岡県立大学看護学紀要,14,2017

3. 外部研究資金

・ 科研 (C) 研究代表者「退職期にある住民主体の看取り・看取られ力量形成プログラム開発」

・ 科研 (C) 共同研究者「過疎地における認知症高齢者を支援する協同的ケアモデルの開発」

・ 科研 (C) 共同研究者「地理情報システムを活用した地域診断に基づく PDCA の実践に関する研究」

・ 科研 (C) 共同研究者「訪問看護師の多職種協働による地域看取りケアの振り返り地域支援プログラムの開発」

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本公衆衛生看護学会, 日本公衆衛生学会, 日本地域看護学会, 日本在宅ケア学会, 日本看護科学学会, 日本看護研究学会, 日本学校保健学会, 日本看護技術学会, 日本医療・病院管理学会

6. 担当授業科目

【学部】

公衆衛生看護学Ⅰ(2単位)2年後期, 家族看護論(1単位)2年前期, 公衆衛生看護アセスメント論Ⅰ(1単位)3年後期, 公衆衛生看護学Ⅱ(2単位)4年前期, 公衆衛生看護アセスメント論Ⅱ(2単位)4年前期, 公衆衛生看護技術論Ⅰ(2単位)4年前期, 公衆衛生看護技術論Ⅱ(2単位)4年前期, 公衆衛生看護学Ⅲ(1単位)4年後期, 公衆衛生管理論(2単位)4年生後期, 組織協働活動論(2単位)4年後期, 公衆衛生看護学実習Ⅰ(1単位)4年前期, 公衆衛生看護学実習Ⅱ(4単位)4年後期,

【研究科】

地域看護学特別研究(2単位)修士1年前期, 地域看護学特別演習(2単位)修士1年後期, 看護研究法(2単位)修士1年前期, 看護政策論(2単位)修士1年前期

7. 社会貢献活動

- ・福岡県地域在宅推進協議会委員（H20年度～現在に至る）
- ・田川市地域支え合い体制づくり検討委員会（平成26年度～現在に至る）
- ・香春町地域福祉計画策定委員（委員長）（平成27年度～現在に至る）
- ・みやこ町健康づくり推進委員会（委員長）（平成27年度～現在に至る）
- ・東峰村地域福祉計画及び東峰村地域福祉活動計画策定委員会（委員長）
- ・北九州市人権施策審議会委員（平成27年～現在に至る）
- ・日本公衆衛生看護学会 理事および査読委員
- ・日本地域看護学会 評議委員および査読委員
- ・日本在宅ケア学会 査読委員
- ・日本看護研究学会 評議員
- ・日本看護科学学会 代議員
- ・田川市立病院評価委員会 委員
- ・田川地区在宅医療・会議連携推進事業

8. 学外講義・講演

- ・ 第12回日本公衆衛生看護学会 会長講演
- ・ 〃 メインシンポジウムA 座長
- ・ 附属研究所公開講座「いのちをつなぐ～地域でのあたたかな看取りに向けて～」2024. 12.14
- ・ 高校生向け出前講義「地域人々に対する看護活動」：福岡県立筑紫高等学校

9. 附属研究所の活動等

附属研究所長として、研究推進部の活動を進めている。また、重点研究として「生活習慣病の重症化によるCKD（慢性腎臓病）の地域格差とリスクの検討 - 地域包括ケアシステム構築に向けたGISの活用 -」福岡県立大学・福岡県国民健康保険団体連合会共同研究事業を実施している。